

各位

東京大学大学院数理科学研究科
GCOE 人材育成委員会

GCOEセミナー 「社会に広がる数学について」第1回

日 時：2010年2月18日（木）
場 所：数理科学研究科 122号室
組織委員：野口潤次郎、俣野博、山本昌宏

プログラム：

- 10:00 - 10:10 開会
- 10:10 - 11:00 俣野 博（数理科学）：
「空間的に非一様な場における進行波」
- 11:00 - 11:50 野口潤次郎（数理科学）：
「岡の接続定理から一致の定理（点分布から分かるもの）まで」
- 13:20 - 14:10 儀我美一（数理科学）、大塚岳（明治大学先端数理科学インスティテュート）：
「結晶界面の成長と偏微分方程式」
- 14:10 - 14:40 古場一（数理科学）：
「成層の影響を考えたエクマン層の安定性について」
- 14:50 - 15:40 O. Iliev（フラウンホーファー産業数学研究所、ドイツ）：
「Flow and material simulation for industrial purposes」

備考：最後の講演以外は質疑応答ともに日本語です。

趣旨：

数学が産業界を含めた社会で重要視されています。このような傾向は数学者が数学固有の思考形式を保ちつつ、実用上の寄与をする事例が増えることにより新たな局面にあると判断されます。応用のみを指向しツールを提供するだけでなく、数学における発想法や対象の見方が科学技術などの発展に欠かせないこともよりよく認識されるようになってきており、そのような事例を通じて、産業などの側では、従来の工学などの分野との共同研究に留まらず、理論に基づいた数学的なアプローチへの関心が特に強まっています。さらに社会の関心を引く数学の分野もますます多様化しており、思いがけない数学の知見が決定的な役割を果たすことも目立ってきています。

本講演会はそのような情勢を踏まえて、産業界で必要とされる可能性がある広範な数学分野に関して、本研究科のスタッフや院生などが話題を提供し、参加者と議論を交わして、産業や異分野連携のために適用可能な研究成果や参考にするべき数学上の知見・研究の発展などについて理解を深めることを目的とします。さらに自由な討論を通じて相互理解を図り、数学を潜在的に必要としている社会と本研究科という異文化の間の接点を確保することを目指します。そのために一方向な講演会ではなく、各講演後に15分程度の時間を質疑応答、議論に当てます。院生諸君の積極的な参加・発言を強く期待しております。